

率向上プロジェクト2011～新規受診者を掘り起こせ！～」として、検診体制強化としては、大腸がん検診特別推進事業、休日がん検診支援事業については事業を拡大して継続実施。

啓発活動としては、がんと向き合う県民フォーラム等の開催や、「がん検診受診率向上総合啓発事業」として、テレビCM、ラジオCM、新聞広告、大型ショッピングセンター等での啓発活動、民間企業と連携した鳥取県がん検診推進企業アクション、学校や企業を対象とした出張がん予防教室などを行う予定である。

平成22年度集団検診で行われた休日がん検診実施状況は、17市町村が実施、延べ4,554人の受診者数であった。そのうち、胃がん検診は17市町村

が実施、延べ1,244人の受診者数であった。

## 報告事項

### 1. 胃がん検診従事者講習会及び症例研究会について

平成24年3月10日の土曜日に西部地区で開催する。講師、テーマについては、伊藤委員に一任することとなった。

### 2. 胃がん検診精密検査医療機関登録更新について

現存の実施要綱、届出書にもとづいて、平成23年度中に登録更新の手続きを行う。

## 無料クーポン券は若年者の初回受診勧奨に一定の効果あり

鳥取県生活習慣病検診等管理指導協議会乳がん部会  
鳥取県健康対策協議会乳がん対策専門委員会

- 日 時 平成23年8月20日（土） 午後2時30分～午後3時45分
- 場 所 鳥取県中部医師会館 倉吉市旭田町
- 出席者 20人  
石黒部会長、工藤委員長  
阿部・青木・大久保・岡田・小林・洞ヶ瀬・野川・廣岡・藤井・前田・山口・吉中・米川各委員  
県健康政策課がん・生活習慣病対策室：下田副主幹、横井主事  
健対協事務局：谷口事務局長、岩垣係長、田中主任

### 【概要】

・国庫補助を活用し、平成22年度に市町村が実施した「女性特有のがん検診推進事業」として、40歳以上の5歳刻みの人を対象に検診無料クーポン券が配布された対象者数は20,081人、受診者数は4,814人、無料クーポン券が配布された対象者数に対しての受

診率は24.0%で平成21年度実績とほぼ同じであった。各年齢別の利用率に大きな差はない。

無料クーポン利用者4,814人に対する初回受診者は2,571人で53.4%を占め、また、無料クーポン対象者20,081人に対する初回受診者の割合は12.8%であった。若い年齢

の初回受診者の利用率が高い傾向であった。よって、初回受診勧奨には一定の効果はあったと思われる。

## 挨拶（要旨）

### 〈石黒部会長〉

マンモグラフィ併用検診が開始され6年経過し、読影体制も整備されつつあります。

受診率が減少傾向にあり、初回受診者の受診勧奨が必要と思います。

### 〈工藤委員長〉

平成21年度から「女性特有のがん検診推進事業」として、対象者に検診無料クーポン券が配布されたことにより、受診率が少し増加している。検診無料クーポン券の有効性、または、どのように活用していくか等について検討していかなければならないと考えます。

## 報告事項

### 1. 平成22年度乳がん検診マンモグラフィ読影委員会開催状況について

平成22年度の各地区読影会実施報告は、以下のとおりである。

東部（工藤委員長）－東部医師会館を会場にして、週2回読影会を開催した。計129回開催し、1回の平均読影件数は34件であった。5市町を対象に8医療機関で撮影された写真4,415件の読影を行い、CAT1が3,499件（79.25%）、CAT2が687件（15.56%）、CAT3が215件（4.87%）、CAT4が11件（0.25%）、CAT5が3件（0.07%）であった。比較読影件数は2,425件（54.9%）であった。症例検討会は8月9日と12月13日、3月28日に開催し、読影委員会は3月14日にそれぞれ開催した。

中部（青木委員）－県立厚生病院を会場にして、週1回読影を行った。計37回開催し、1回の平均読影件数は24件であった。5市町を対象に4医療機関で撮影された写真880件の読影を行い、

CAT1が793件（90.11%）、CAT2が41件（4.66%）、CAT3が43件（4.89%）、CAT4が3件（0.34%）、CAT5が0件であった。比較読影件数は40件（4.57%）であった。3月9日に症例検討会及び読影委員会を開催した。

西部（石黒部会長）－西部医師会館を会場にして、週2回読影を行い、計45回開催、1回の平均読影件数は32件であった。3市町を対象に1医療機関で撮影された写真1,427件の読影を行い、CAT1が1,099件（77.01%）、CAT2が231件（16.19%）、CAT3が121件（8.48%）、CAT4が3件（0.21%）、CAT5が0件であった。比較読影件数は769件（53.9%）であった。その他は各医療機関で読影をされている。症例検討会を3月24日に開催した。

### 2. 鳥取県乳がん検診一次検査（乳房X線撮影）医療機関登録更新について：

岩垣鳥取県健康対策協議会事務局係長

平成23年度の登録更新となり、平成22年度中に更新手続きを行った。東部7、中部4、西部9、計20医療機関が登録されている。

### 3. 鳥取県乳がん検診精密検査医療機関登録更新について：

岩垣鳥取県健康対策協議会事務局係長

平成23年度の登録更新となり、平成22年度中に更新手続きを行った。東部5、中部2、西部8、計15医療機関が登録されている。

### 4. 平成22年度女性特有のがん検診推進事業実績について：下田県健康政策課がん・生活習慣病対策室副主幹

国庫補助を活用し、平成22年度に市町村が実施した「女性特有のがん検診推進事業」として、40歳以上の5歳刻みの人を対象に検診無料クーポン券が配布された対象者数は20,081人、受診者数は4,814人、無料クーポン券が配布された対象者数に対しての受診率は24.0%で平成21年度実績とほ

ほぼ同じであった。各年齢別の利用率に大きな差はない。

無料クーポン利用者4,814人に対する初回受診者は2,571人で53.4%を占め、また、無料クーポン対象者20,081人に対する初回受診者の割合は12.8%であった。若い年齢の初回受診者の利用率が高い傾向であった。よって、初回受診勧奨には一定の効果はあったと思われる。

ただし、鳥取県乳がん検診対象者全体約119,000人のうち、この事業対象者は40歳から60歳までの5歳刻み年齢の者約2万人であり、検診対象者全体のわずか16.9%である。さらに実際の利用者は、クーポン事業対象者の24.0%、検診対象者全体のわずか4.1%であることから、この事業の効果が受診率向上に数値として反映しにくいと考えられる。

## 5. がん検診受診率向上プロジェクト事業について

下田県健康政策課がん・生活習慣病対策室副主幹

鳥取県健康政策課においては、「がん検診受診率向上プロジェクト2011～新規受診者を掘り起こせ！～」として、検診体制強化としては、大腸がん検診特別推進事業、休日がん検診支援事業については事業を拡大して継続実施。

啓発活動としては、がんと向き合う県民フォーラム等の開催や、「がん検診受診率向上総合啓発事業」として、テレビCM、ラジオCM、新聞広告、大型ショッピングセンター等での啓発活動、民間企業と連携した鳥取県がん検診推進企業アクション、学校や企業を対象とした出張がん予防教室などを行う予定である。

平成22年度集団検診で行われた休日がん検診実施状況は、17市町村が実施、延べ4,554人の受診者数であった。そのうち、乳がん検診は15市町村が実施、延べ897人の受診者数であった。

## 6. その他

平成22年度鳥取県保健事業団の乳がん検診実施

状況について、大久保委員より報告があった。受診者数7,213件、CAT3が346件（4.80%）、CAT4が25件（0.34%）、CAT5が5件（0.07%）で、要精検者数376件、要精検率5.21%であった。

初回受診率の推移から、平成20年度14.4%に比べ、平成21年度24.0%、平成22年度21.1%と増えている。

また、保健事業団が実施した乳がん検診における「女性特有のがん検診推進事業」無料クーポン利用者の傾向としては、休日がん検診受診者に初回受診者の増加が見られたとの報告があった。

### 協議事項

#### 1. 鳥取県マンモグラフィ読影講習会及び読影更新講習会開催について

読影体制強化のため、「マンモグラフィ検診精度管理中央委員会」との共催による講習会を以下のとおり行う。

(1) 講習会名：鳥取県マンモグラフィ読影講習会及び読影更新講習会

(2) 期日：平成23年10月29日（土）～30日（日）  
鳥取県マンモグラフィ読影講習会：  
平成23年10月29日（土）～30日（日）  
読影更新講習会：平成23年10月30日（日）

(3) 会場：鳥取県健康会館

(4) 主催者：鳥取県健康対策協議会

受講希望者を募ったところ、定員50名に対し、新規受講者29名、更新受講者16名。

この講習会は、「鳥取県地域医療再生基金」からの補助金を活用し開催する。

プレ講習を9月11日（日）、鳥取県西部医師会館、9月18日（日）、鳥取県東部医師会館で行う。

#### 2. 鳥取県乳がん検診一次検査（乳房エックス線撮影）医療機関追加登録について

1 医療機関より追加登録の申請があり、工藤委員長が事前に医療機関より提出して頂いたフィルムを見られた結果、特に問題のない写真であった

と報告があった。よって、登録を承認することとなった。

### 3. その他

次回会議は平成23年12月15日（木）、午後4時より鳥取県健康会館において開催する予定。

## 乳がん検診従事者講習会及び第19回鳥取県検診発見乳がん症例検討会

日時 平成23年8月20日（土）  
午後4時～午後5時40分

場所 鳥取県中部医師会館 倉吉市旭田町

出席者 53名  
(医師：48名、看護師・保健師：4名、  
検査技師：1名)

吉中正人先生の司会により進行。

### 講演

鳥取県生活習慣病検診等管理指導協議会乳がん部会長 石黒清介先生の座長により、高知大学医学部外科学講座外科一准教授 杉本健樹先生による「高知県のマンモグラフィ検診の現状—マンモ

グラフィ単独検診の精度向上とデジタルマンモグラフィ遠隔診断支援事業—」の講演があった。

### 第19回鳥取県検診発見乳がん症例検討会

鳥取県健康対策協議会乳がん対策専門委員会委員長 工藤浩史先生の司会により2症例を報告して頂き、検討を行った。

(1) 鳥取県立厚生病院（1例）：田中裕子先生

(2) 鳥大医 器官再生外科学（1例）：

石黒清介先生

### 乳がん検診一次検診登録講習

工藤浩史先生を講師として、乳がん検診一次検診登録講習を行った。4名の参加があった。



K.T